

キャリア発達に資する就学相談の在り方について

～平成 18 年の学校教育法等改正、平成 25 年の学校教育法施行令の一部改正等の影響の考察から～

企画者	深谷 純一	（東京都立高島特別支援学校）
	松見 和樹	（千葉県教育委員会）
司会者	松見 和樹	（千葉県教育委員会）
話題提供者	深谷 純一	（東京都立高島特別支援学校）
	瀧田 美紀子	（横浜市教育委員会）
指定討論者	市川 裕二	（東京都立あきる野学園）

KEY WORDS: 就学相談 キャリア発達 インクルーシブ教育システム

【企画趣旨】

平成 18 年の学校教育法等改正により、特殊教育が特別支援教育へ変わった。平成 25 年には学校教育法施行令の改正により就学相談の仕組みが変更されるなど、障害のある子供たちの就学に関する法令や環境が大きく変化し続けている。この現状に対し、昨今の就学相談の状況も踏まえ、公表されている数値から学校教育法施行令改正等の影響が考えられる就学相談の結果を比較し、法令等改正の影響を考察する。

そのために、教育行政の就学相談担当者として法令改正等の節目を担当した者や、現在教育行政で就学相談を担当している者から話題を提供し、自身も教育行政で就学相談を担当した全国特別支援学校長会会長を指定討論者に迎え、現在の就学相談に必要とされる、キャリア発達に資する将来を見据えた情報提供や就学相談の在り方について検討する。

【話題提供者の趣旨】

1 首都圏広域自治体の就学相談（深谷）

話題提供者は、平成 24,25 年度に指導主事として東京都の就学相談を担当し、平成 25 年の学校教育法施行令の改正を受け基礎自治体に対し就学相談の変更等に関する周知を行った。また、平成 29,30 年度は統括指導主事（管理職）として東京都の就学相談を担当し、東京都の就学相談に関する資料に柔軟な転写に関する記述を追記した。

東京都の公表する年度毎の公立学校統計調査、学校基本調査等から、就学相談の状況を概観したところ、全就学児童・生徒に対する就学相談者数の件数と割合は、平成 10 年度は 2,318 件 1.36%だったところ、令和元年度には 10,0877 件 5.96%であり、件数及び割合とも約 4.4 倍に増加し、その中で顕著に増加したのは、知的障害の特別支援学級及び特別支援学校、自閉症・情緒障害の特別支援学級及び通級指導学級であった。こうした傾向に対する施策などに関連させ、実際の就学相談の状況と合わせて話題提供を行う。

2 首都圏政令指定都市の就学相談（瀧田）

話題提供者は、平成 22 年から 29 年まで指導主事として政令指定都市である横浜市の特別支援教育に携わり、令和 2 年度からは就学相談を担当している。

横浜市が公表する教育に関する統計・調査の年度毎の市立学校現況等によれば、個別支援学級（特別支援学級）、通級指導教室、特別支援学校に在籍する児童生徒数は、平成 20 年度の 6,797 名から令和元年度には 11,800 名と、約 2 倍に増加し、特に個別支援学級、

通級指導教室在籍数の増加率が高くなっている。また、就学・教育相談件数（既就学児を含む）は、平成 25 年度の 3,647 件から、毎年平均 200 件程増加し、令和 2 年には 5,000 件を超え、約半分が新就学児の相談である。また増加の多くが発達障害等の知的遅れのないケースで、相談件数全体の約 6 割を占めている。

このような状況の変化について、横浜市の教育施策や就学前の療育や障害児支援に関する状況との関連を合わせながら話題提供を行う。

【指定討論者の趣旨】

インクルーシブ教育システムの構築において、当事者のキャリア発達に資する就学相談とは（市川）

指定討論者は、平成 15 年度から平成 19 年度まで指導主事として東京都の就学相談を担当し、平成 27 年度には就学相談を所管する主任指導主事（管理職）として、議会対応を含む就学に関する教育施策全般に携わってきた。また、国の「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議」の委員として同会議にも関わっていた。

この会議の報告では、今後の就学相談の充実に向けて、早期からのきめ細かい就学相談や支援を行うため、法定健診である乳幼児健診や就学時健診に加えて、5 歳児健診等の機会の活用や小学校や特別支援学校双方で受けられる教育の内容、支援体制を含む基礎的環境整備、障害者差別解消法に基づく合理的配慮の提供、可能な範囲で医学等の専門的見地も含めた学校卒業までの子供の育ちの見通し等について、情報提供を行うこと、早期発見・早期支援の観点から、本人や保護者支援及び関係者の理解促進の更なる充実、就学相談担当者等の専門性向上を図ることなどが示されている。

特殊教育から特別支援教育に変わり、就学相談の様相が変わってきていると考えられる。こうした現在の就学相談に関する、話題提供や自身の経験から、今後の就学相談の在り方を論じてみたい。

（文献）

「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議報告」（令和 3 年 2 月文部科学省）
（FUKATANI Junichi , TAKITA Mikiko , MATUMI Kazuki , ICHIKAWA Yuuji）